



西村クリニック便り

第26号

発行元

西村クリニック

四條畷市楠公 1-14-6

072-862-3001

私の趣味の一つに将棋があります。これは四十数年前、高校生だった頃、学校で流行っていて、その頃に覚えたものです。この将棋は私に合っていた様ですぐに上達し、二十歳の頃には二段の腕前になっておりました。

その後、対戦相手に恵まれず、もっぱら新聞の将棋欄を見たり、詰将棋を作ったり、解いたりする事で過ごしてきました。

この詰将棋というのは、盤面に数枚の駒を置いて、持駒を使って敵の王様を討ち取る、即ち詰めるわけで、この様に将棋は一人でもできる非常に面白いゲームであります。

昨今、コンピュータの進歩と共に色々なゲームが出てきております。つい先日にもボケモンGOなるゲームが発売され、世の中の人々が皆熱中した様であります。私がこの様なコンピュータゲームに全く興味なく過ごしているのも将棋があるからだと思っています。

しかしながら将棋の世界にもコンピュータが入り込んでいる様で、プロ棋士が将棋ソフトに負ける様になり、更には昨年から今年にかけて、プロ棋士が対局中に将棋ソフトを使ってカンニングしたのではないかと、という話題で将棋界がもめたりしております。

それはともかくとして、将棋というゲームは脳ミソを鍛えるのに非常に役立つことは事実であります。空間的立体的思考能力、先を読む力などが大いにつき、認知症の予防にもとても有用だと考えられ、私はこれからもボケ防止の手段として趣味の将棋を続けていきたいと思っております。

院長 西村 章

特定健診、後期高齢者健康診査

もうお済みですか？

**受診券の有効期限を確認していた
き、今年度分をお持ちの方は3月31
日(金)までです。お早目にお願
いします。尚、当クリニックでは大腸・肺・
前立腺(男性のみ)のがん検診も同時に
受けていただけます。大腸がん検診は
便の回収がありますので3月25日
(土)までにご来院ください**

**※詳細については受付までお気軽に
お問合せください※**

編集後記

合格グッズを買いあさる日々も
もうすぐ終わります(^◇^)

本人はもちろん

ご家族の皆様お疲れ様でした♡

お世話になった先生方

本当にありがとうございました♪



教育心理について勉強する中で、印象に残ったことについてお話ししたいと思います。それは「子供が学習に取り組む動機の二要因モデル」についてです。学習動機の二要因モデルとは、学習内容の重要性、学習の功利性から6つの種類の学習動機を分類し、構造化したものです。

①関係志向(例えば〇〇ちゃんも勉強してるから私も勉強しよう、などといった同調的な動機) ②自尊志向(例えば〇〇君には負けたくない、学校に成績が張り出されるから一番になって優越感にひたりたいなどといった動機) ③報酬志向(例えばテストでいい点をとれば親にゲームを買ってもらえる、テストで赤点をとれば親に叱られる、携帯を取り上げられるなどといった罰を恐れる動機) ④充実志向(例えば、〇〇について深く知りたい、学びたいということが目的の知的好奇心を満たすための動機) ⑤訓練志向(例えば学習を通して知識の幅を広げ、教養を身に付けたいなどといった知的能力を伸ばすことを目的とする動機)



⑥実用志向(例えば資格を取得して将来進学や就職に活かしたいなどといった実用を目的とした動機) ①～③は外発的要因で④～⑥は内発的要因であることがおわかりいただけるでしょうか。教育において、

児童、生徒が自主的に学習に励むように学びたい意欲を引き出す授業が大切だとされています。そのことを考慮するとしたら内発的な動機を刺激することが最も大切だと推測します。結果を求めすぎてしまう外発的な動機では授業が受動的になり意欲を失ってしまう可能性があるからです。院長は数学が一番得意な科目です。数学をまるでゲームのように楽しく解説していきます。医学についても今尚学び研究し学び続ける姿勢は④に特に当てはまり、学ぶことから充実感を得ていると思われ